

令和元年度上半期 経営報告会

令和元年11月19日



目次

地域貢献の取り組み

地域貢献の取り組み … 2

令和元年度上半期の業績

1-1 預金積金の残高 ……………	10	5-1 純資産の状況 ……………	18
1-2 預金積金の内訳 ……………	11	5-2 自己資本の状況 ……………	19
2-1 貸出金の残高 ……………	12	5-3 不良債権の状況 ……………	20
2-2 貸出金の内訳 ……………	13	6-1 貸借対照表 ……………	21
3-1 損益の状況 ……………	14	6-2 損益計算書 ……………	22
3-2 損益の増減要因 ……………	15	7 2019年度計画の進捗状況 ……	23
4-1 有価証券の運用状況 ……	16		
4-2 有価証券の評価損益 ……	17		

対処すべき課題への対応状況

課題1. 支援力、営業力の強化への対応状況 ……	25
課題2. 人材力の強化への対応状況 ……	33
課題3. 業務改革、生産性の向上への対応状況 ……	38

本資料に記載の計数は、単位未満を切り捨てて表示しております。
なお、合計等は原数値で計算してから切り捨てて表示しておりますので、
表上の合計が一致しない場合があります。

地域貢献の取り組み

だれもが住み続けられる街づくりへの貢献

「へきしんSDGs 行動宣言」を表明



地域金融機関として、SDGsへの取り組みを通じて、持続可能な地域社会の実現に貢献します

【今後の取り組み】

- SDGs 推進に向けた商品開発
- 地域の物産展の開催 など

SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、世界中のすべての人々が幸せに暮らすことができる社会を作るために、2015年9月に国連サミットで採択された国際社会共通の目標です。



【令和元年10月1日】
東京海上日動火災保険(株)と
包括連携協定を締結

地域のスポーツ振興を通じた地域交流の活性化

プロバスケットボールチーム 「シーホース三河」と企業協賛



へきしんアプリ利用者の方へ
オリジナル応援グッズをプレゼント



シーホース三河 試合会場
ウイングアリーナ刈谷にて



へきしんアプリ利用者限定の
割引観戦チケット配信

地域の人づくりをお手伝い

次世代を担う心豊かな子供たちの育成へのお手伝いをしています



へきしん年金友の会
「お孫さんと行く
夏休み静岡日帰りバスツアー」



親子向けセミナー
「親子で学ぼう
<へきしん> けいざい教室」

地域の人づくりをお手伝い

次世代を担う心豊かな子供たちの育成へのお手伝いをしています



中学生対象の職場体験学習



大学生のインターンシップ

地域交流・環境保全への取り組み

地域行事への参加



「安城七夕まつり」ダンスパレードに出場



「有松絞りまつり」

地域の環境保全へ 向けた活動



緑の募金に寄付

振り込め詐欺など特殊詐欺防止への取り組み

店頭・ATMコーナー等でお客さまに注意を呼びかけ、被害の未然防止に取り組んでいます。



振り込め詐欺未然防止により
警察署より感謝状を受領

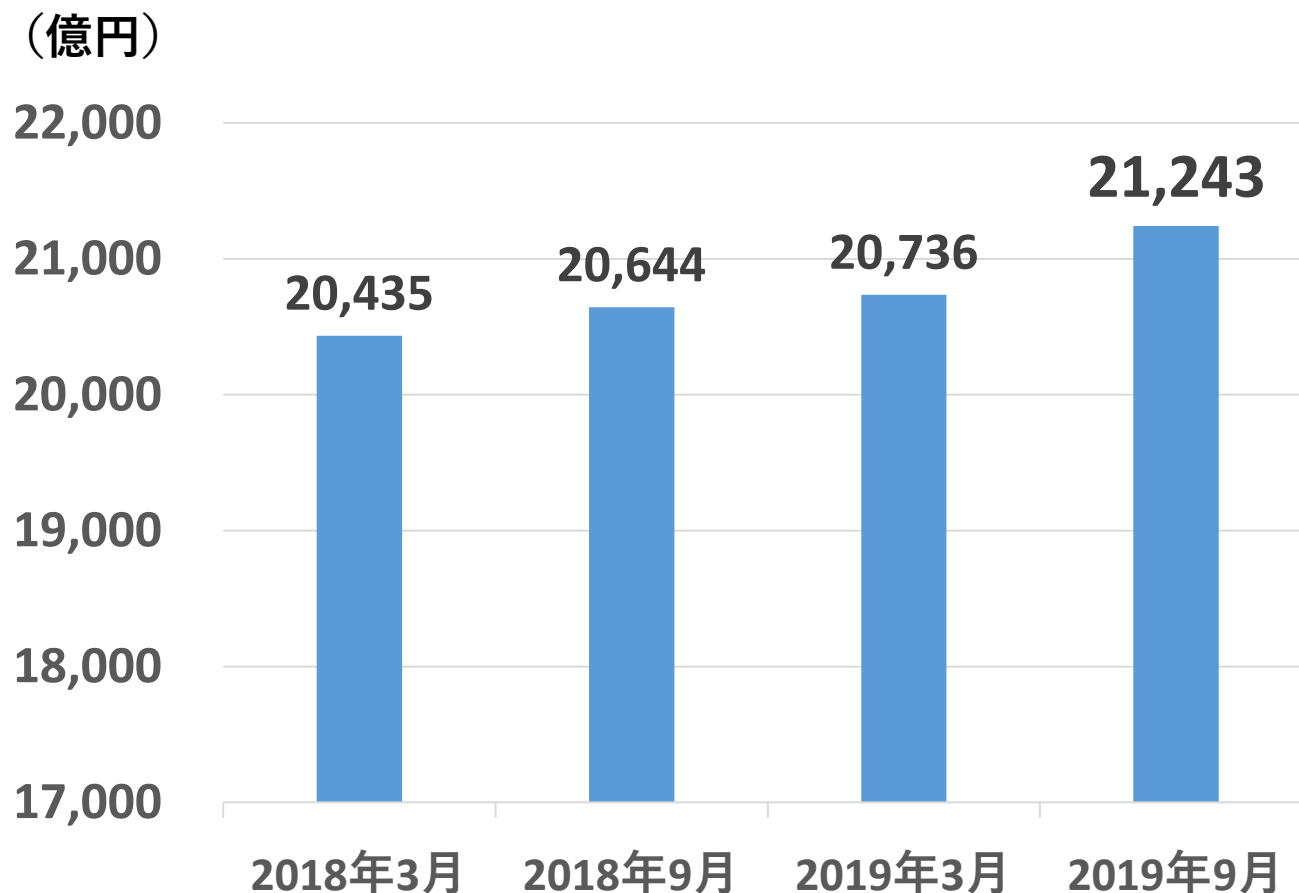


「詐欺被害未然防止活動」を実施

令和元年度上半期の業績

1-1 預金積金の残高

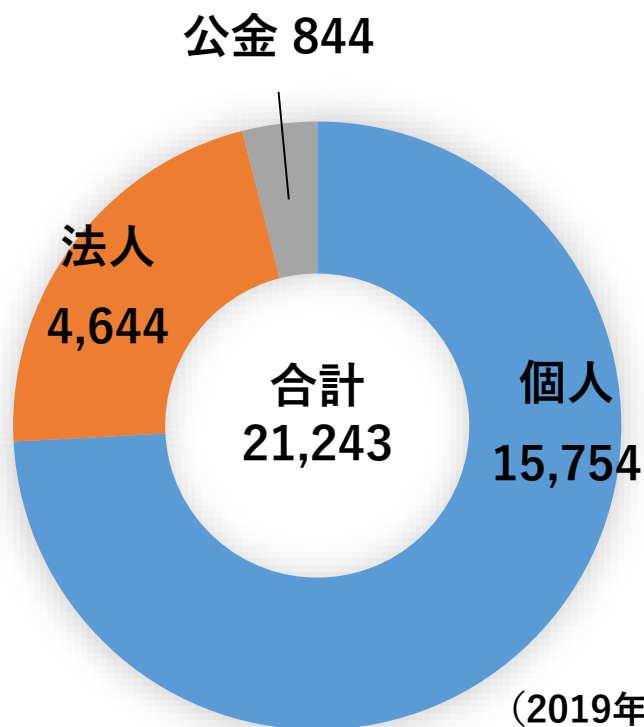
- 預金積金残高は2兆1,243億円、前期末比506億円増加
- 個人・法人・公金預金それぞれ増加



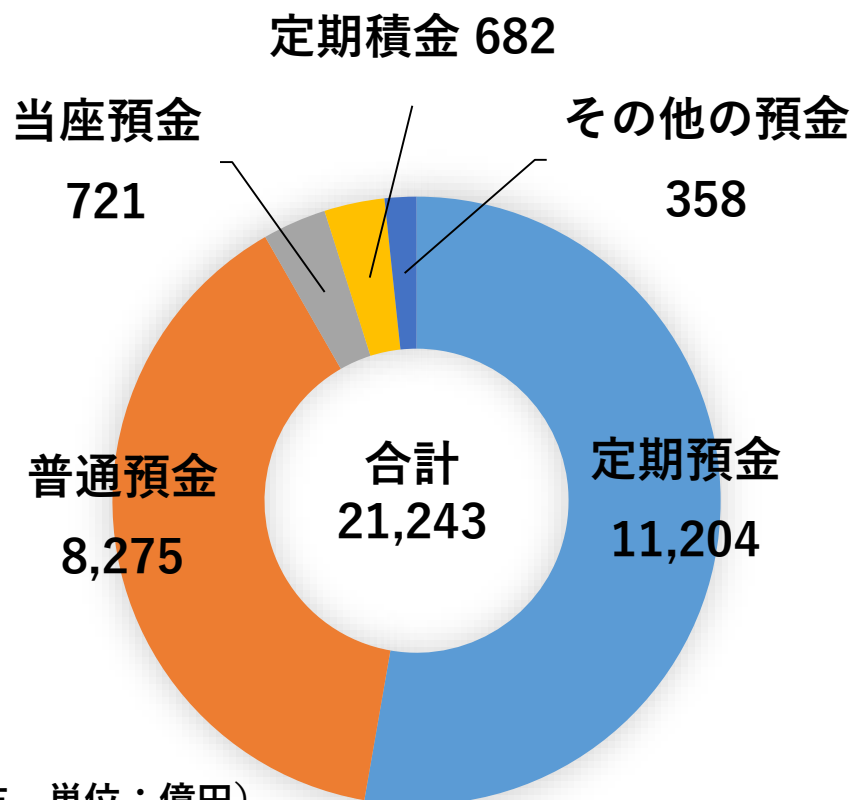
1-2 預金積金の内訳

- 個人のお客さまからの預金積金が全体の74.1%
- 科目別では、定期預金が全体の52.7%

預金者別預金積金残高



科目別預金積金残高

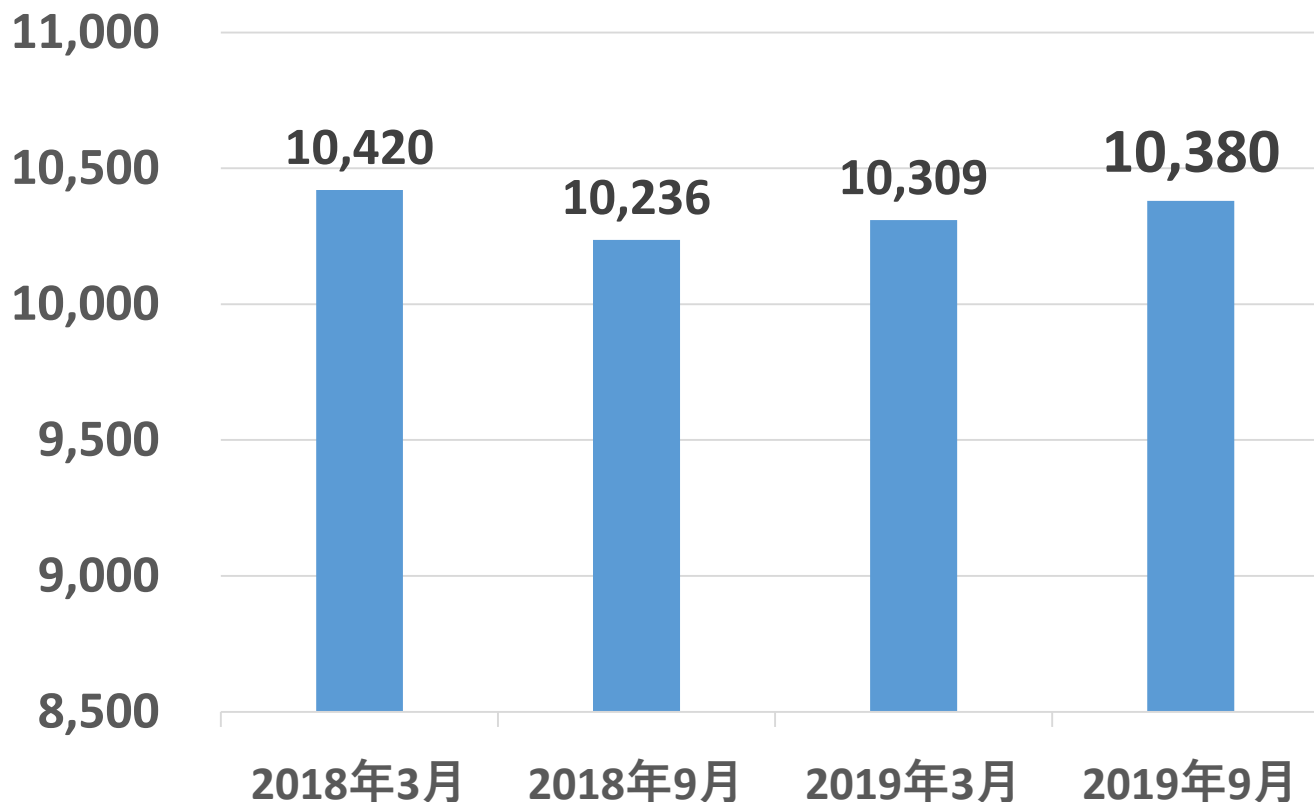


(2019年9月末、単位：億円)

2-1 貸出金の残高

- 貸出金残高は1兆380億円、前期末比71億円増加
- 住宅ローンなど個人向けの貸出金が増加

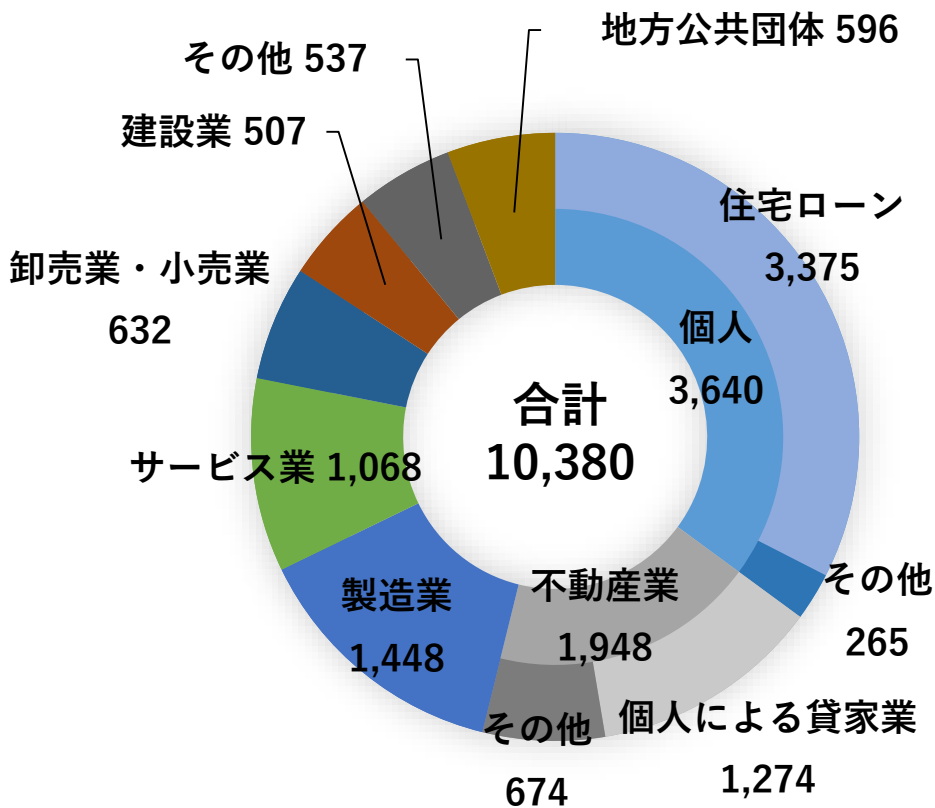
(億円)



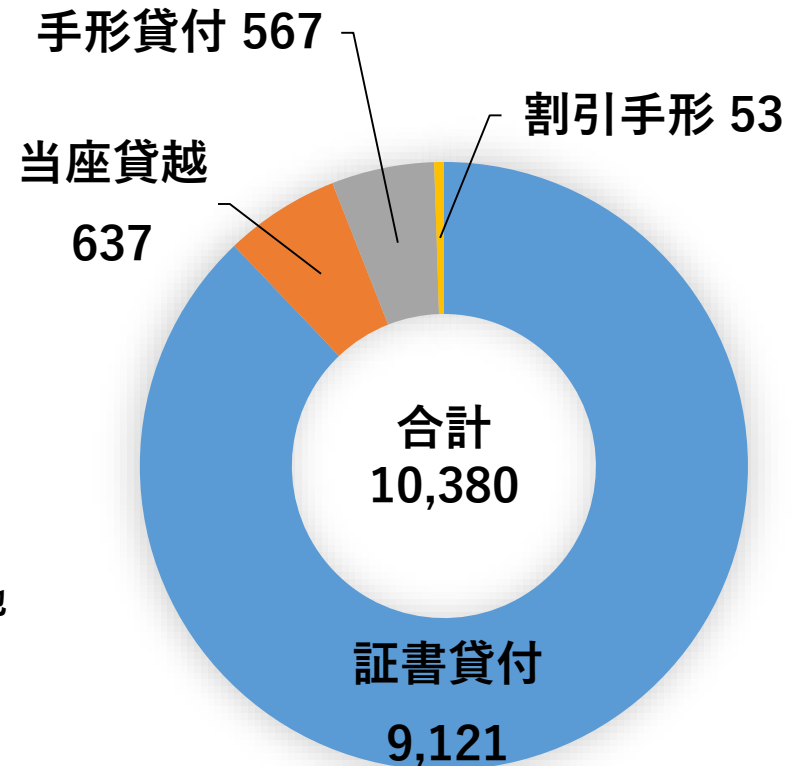
2-2 貸出金の内訳

- 特定の業種に偏ることなく、幅広い業種の資金需要に対応
- 事業者向けの貸出金が全体の59.1%、個人向け貸出金が全体の35.0%

業種別貸出金残高



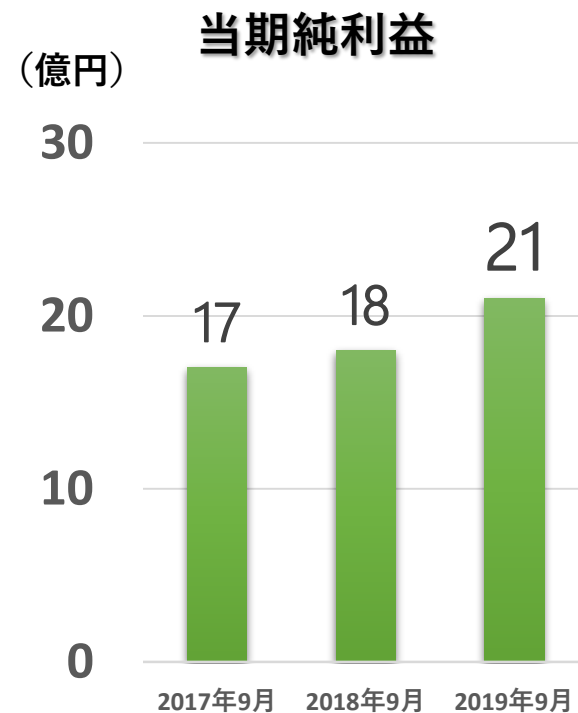
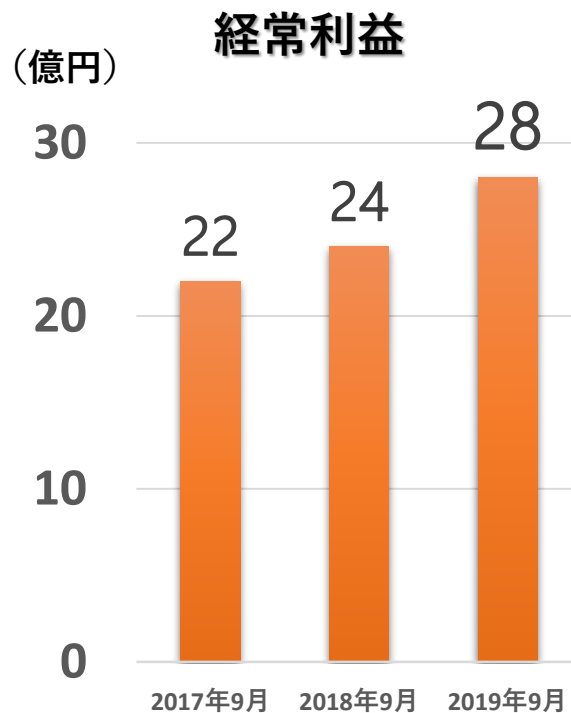
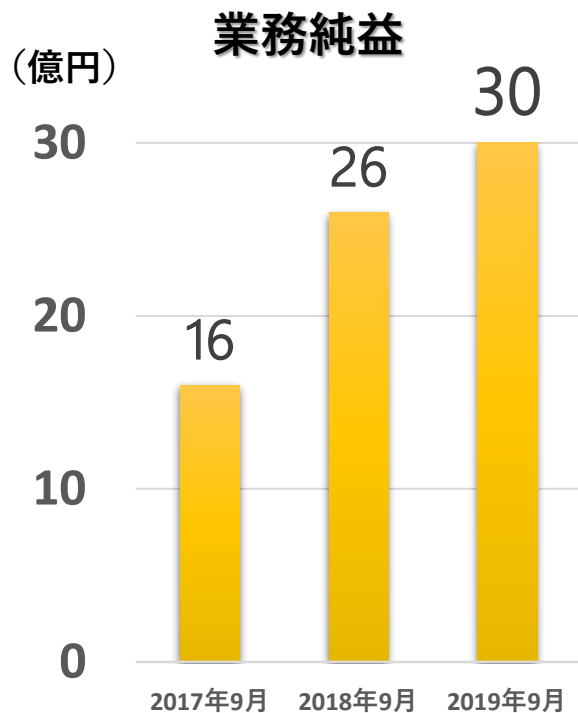
科目別貸出金残高



(2019年9月末、単位：億円)

3-1 損益の状況

- 業務純益・・・前年同期比+3億円
- 経常利益・・・前年同期比+4億円
- 当期純利益・・・前年同期比+2億円



3-2 損益の増減要因

(単位：百万円)

	平成30年度 上半期	令和元年度 上半期	増 減
業務粗利益	10,575	10,755	180
資金利益	9,669	9,776	107
役員取引等利益	465	568	102
その他業務利益	440	410	△30
(うち国債等債券関係損益)	408	393	△14
経費	7,869	7,783	△85
人件費	4,818	4,763	△54
物件費	2,785	2,751	△33
一般貸倒引当金繰入額	85	△30	△115
業務純益(※1)	2,620	3,002	381
コア業務純益(※2)	2,297	2,578	281
臨時損益	△175	△120	54
不良債権処理損益	△421	△195	226
株式等関係損益	158	△31	△189
経常利益	2,443	2,879	436
特別損益	0	△2	△2
当期純利益	1,807	2,101	293

(単位：百万円)

(資金利益の内訳)	令和元年度 上半期	増 減
資金運用収益	10,210	△98
貸出金利息	5,257	△301
預け金利息	457	△56
有価証券利息配当金	4,286	259
資金調達費用	435	△206
預金利息	430	△205

有価証券利息配当金の増加などにより、業務純益は前年同期比3億8千百万円増加の30億2百万円となりました。

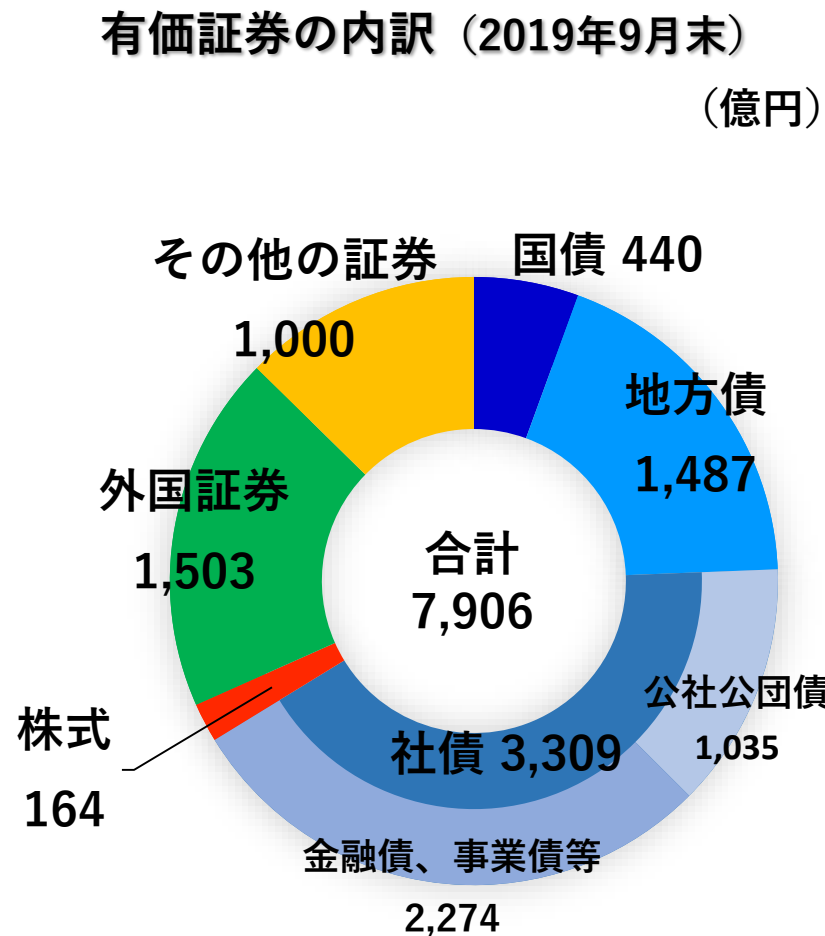
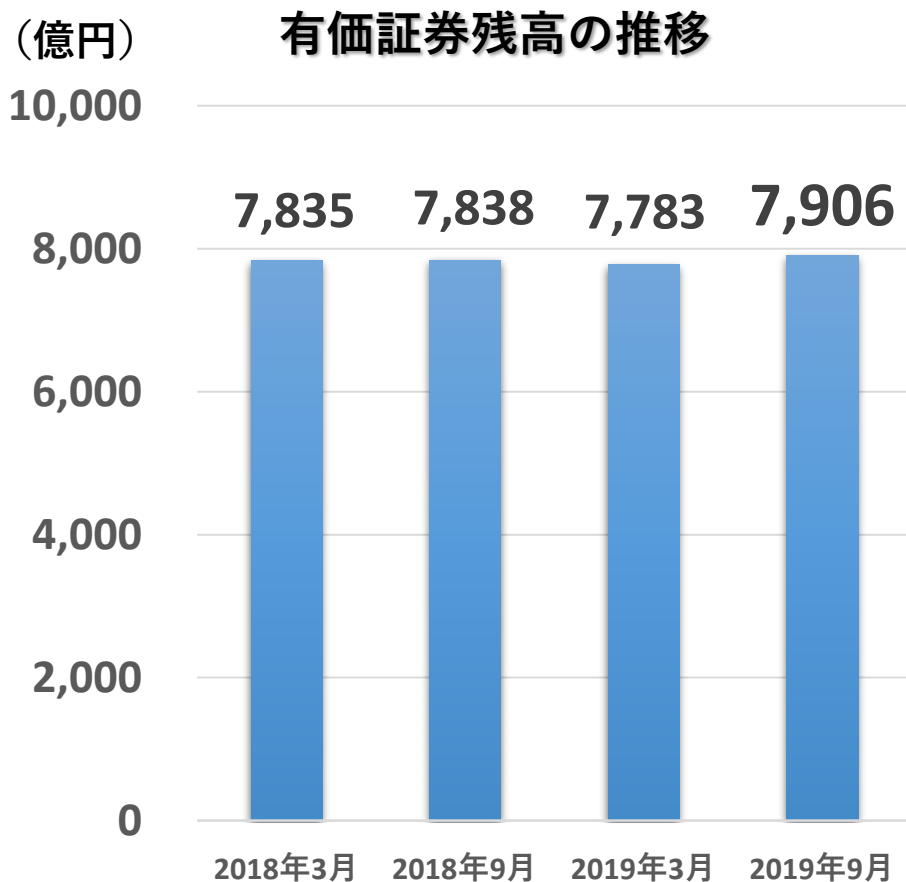
不良債権処理費用の減少などにより、経常利益は前年同期比4億3千6百万円増加の28億7千9百万円となりました。

※1 業務純益とは、金庫の基本的業務に係る利益です。

※2 コア業務純益とは、業務純益から、一時的な変動要因(国債等債券関係損益等)を除いた、より実質的な収益力を表す利益です。

4-1 有価証券の運用状況

- 有価証券残高は7,906億円、前期末比122億円増加
- 安全性重視の運用を行っています



4-2 有価証券の評価損益

- 有価証券の評価益は191億円、前期末比24億円増加
- 引き続き高い水準の評価益を維持

有価証券の評価損益

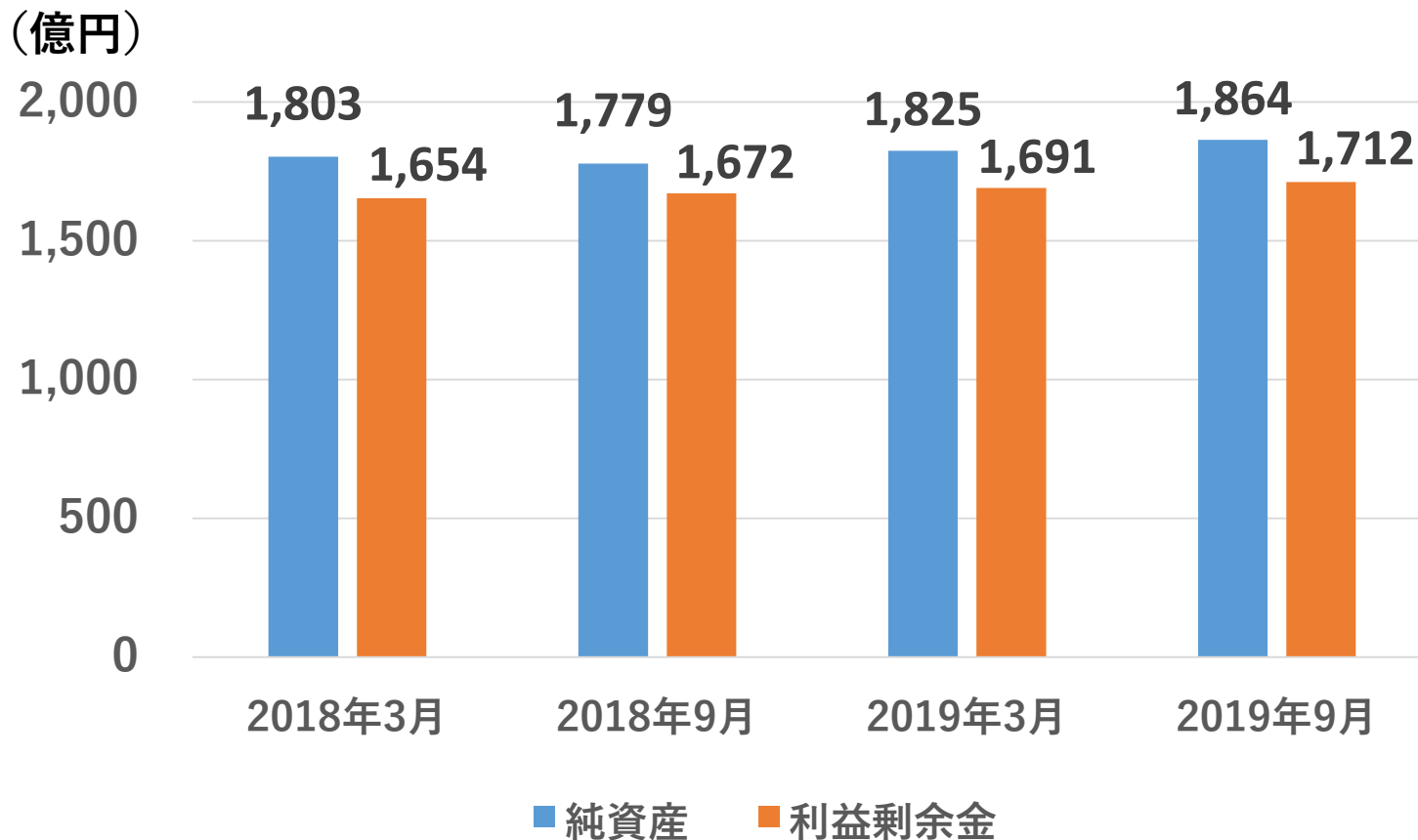
(億円)

	2019年3月末	2019年9月末	増 減
有価証券 計	166	191	24
株 式	32	30	△1
債 券	137	143	6
その他	△3	17	20

※その他は、外国証券、投資信託等

5-1 純資産の状況

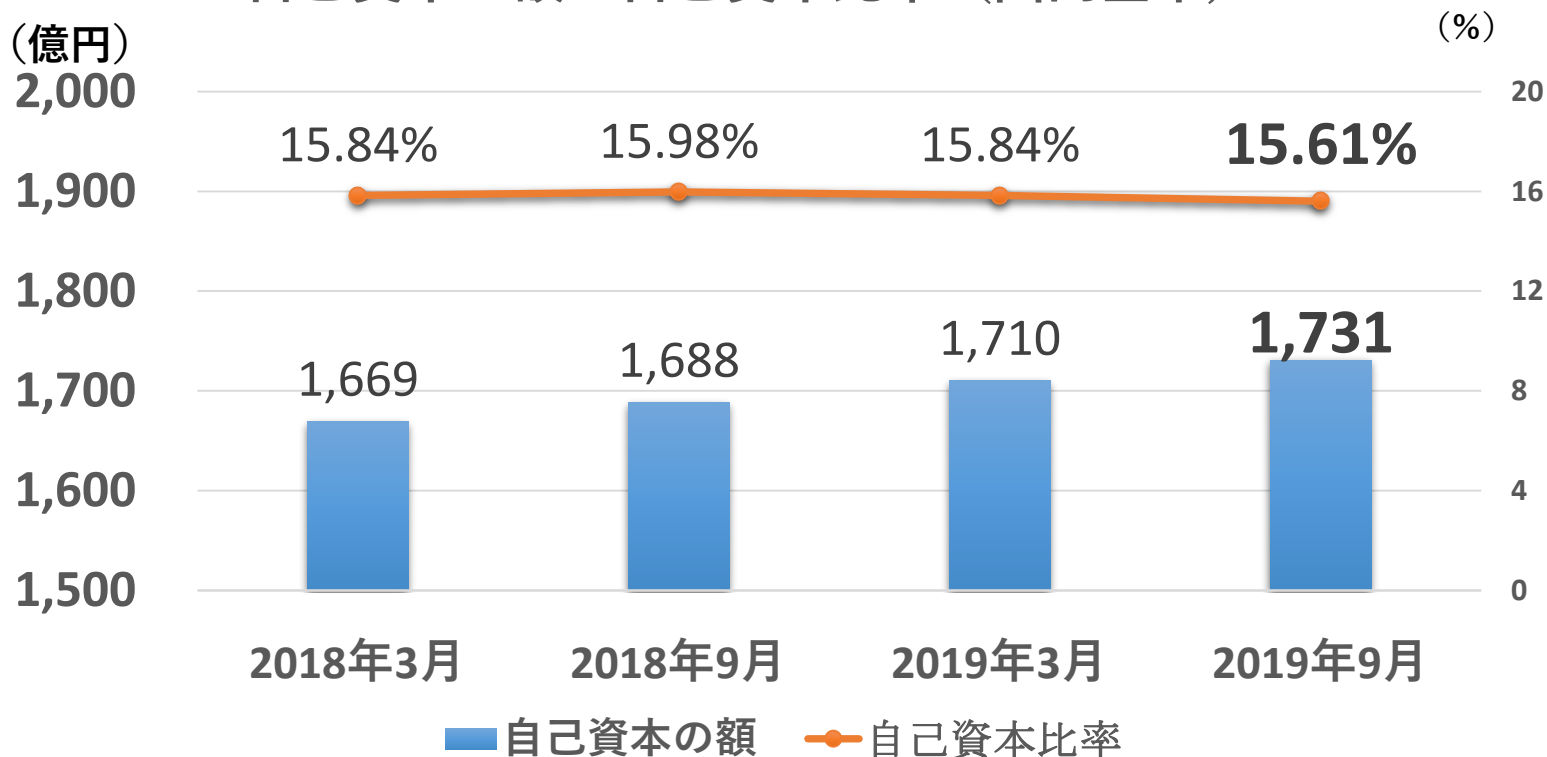
- 純資産は1,864億円、前期末比38億円の増加
- 利益剰余金は前期末比20億円増加の1,712億円
- 純資産に占める利益剰余金の割合が高く、純資産の質が高いことが特徴



5-2 自己資本の状況

- 自己資本の額は、毎期の利益計上により着実に増加
- 自己資本比率は、総資産の増加等の要因により低下し、15.61%
- 信用金庫に求められる国内基準4%を大幅に上回っています

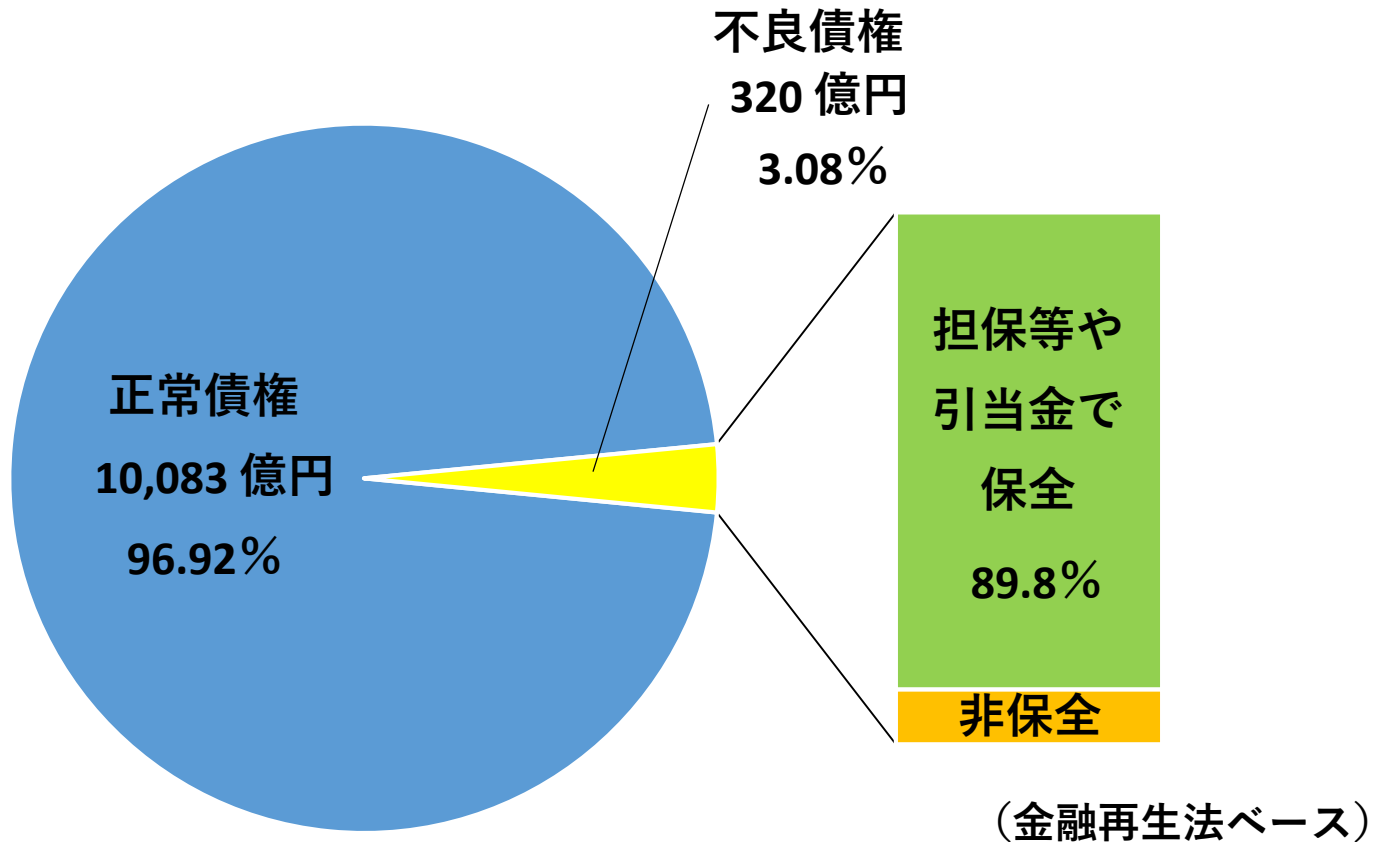
自己資本の額と自己資本比率（国内基準）



$$\text{自己資本比率(\%)} = (\text{自己資本額} \div \text{リスクアセット}) \times 100$$

5-3 不良債権の状況

- 不良債権残高は320億円、不良債権比率は3.08%
- 不良債権に対する保全率は89.8%



※ 当金庫は債務者に対する債権のうち、回収可能性がないと判断した部分について、直接貸借対照表から減額する部分直接償却を実施しています。

6-1 貸借対照表 (2019年9月末現在)

科 目	金 額
(資産の部)	百万円
現 金	21,713
預 け 金	468,452
買 入 金 銭 債 権	4,101
金 銭 の 信 託	6,977
商 品 有 価 証 券	24
有 価 証 券	790,605
貸 出 金	1,038,099
外 国 為 替	517
そ の 他 資 産	11,588
有 形 固 定 資 産	23,654
無 形 固 定 資 産	545
債 務 保 証 見 返	1,831
貸 倒 引 当 金	△3,298
(うち個別貸倒引当金)	(△2,115)
資 産 の 部 合 計	2,364,812

科 目	金 額
(負債の部)	百万円
預 金 積 金	2,124,349
借 用 金	43,400
外 国 為 替	102
そ の 他 負 債	3,540
賞 与 引 当 金	191
退 職 給 付 引 当 金	423
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	353
偶 発 損 失 引 当 金	241
睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	177
繰 延 税 金 負 債	3,789
債 務 保 証	1,831
負 債 の 部 合 計	2,178,401
(純資産の部)	
出 資 金	1,238
利 益 剰 余 金	171,248
会 員 勘 定 合 計	172,486
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	13,924
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	13,924
純 資 産 の 部 合 計	186,410
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	2,364,812

6-2 損益計算書 (2019年4月1日～9月30日)

科 目	金 額
	百万円
経 常 収 益	12,313
資金運用収益	10,210
貸出金利息	5,257
有価証券利息配当金	4,286
役務取引等収益	1,470
その他業務収益	412
国債等債券売却益	394
その他経常収益	219
経 常 費 用	9,433
資金調達費用	435
預 金 利 息	416
役務取引等費用	901
その他業務費用	2
経 費	7,811
人 件 費	4,791
物 件 費	2,751
その他経常費用	282
貸出金償却	13

経 常 利 益	2,879
特 別 利 益	—
特 別 損 失	2
税引前当期純利益	2,877
法人税、住民税及び事業税	690
法人税等調整額	84
法人税等合計	775
当期純利益	2,101
繰越金(当期首残高)	366
当期末処分剰余金	2,467

7 2019年度計画の進捗状況

計画の進捗状況

	項目	半期実績	半期計画	計画対比	年度計画
規模	預金平均残高	2兆884億円	2兆855億円	+29億円	2兆900億円
	貸出金平均残高	1兆299億円	1兆259億円	+40億円	1兆300億円
収益性	経常利益	28億円	25億円	+3億円	50億円以上
健全性	自己資本比率	15.61%	—	—	15.00%以上
生産性	役職員一人あたり コア業務粗利益	7百万円	—	—	15百万円以上

※ 健全性を表す自己資本比率、生産性を表す役職員一人あたりコア業務粗利益は、
年度計画を設定していますが、半期計画は設定していません。

対処すべき課題への対応状況

- 課題 1. 支援力、営業力の強化
- 課題 2. 人材力の強化
- 課題 3. 業務改革、生産性の向上

課題 1. 支援力、営業力の強化 への対応状況

ビジネスマッチング支援等の展開

へきしんビジネス商談会
2019 IN 安城



(令和元年7月開催)

◆実績◆

- | | |
|---------|------|
| ・発注企業 | 29社 |
| ・受注企業 | 110社 |
| ・商談実現件数 | 159社 |

今後も継続的に開催予定

非対面ツール
へきしんBig Advance



(平成31年4月提供開始)

◆主な提供サービス◆

- ・ビジネスマッチング
- ・従業員向け福利厚生サービス
- ・専門家相談
- ・ホームページ作成

企業と従業員間の安否確認サービス等、機能追加予定

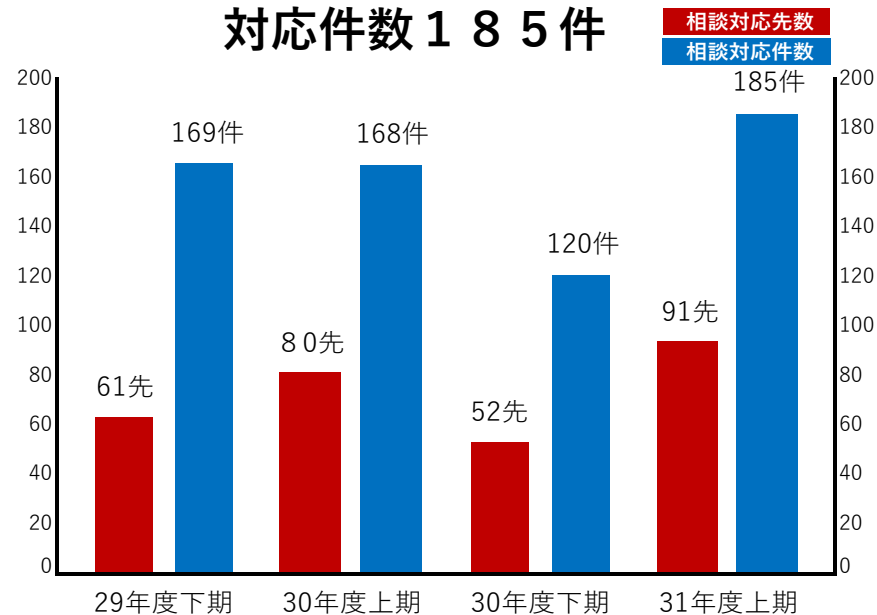
外部機関「安城ビジネスコンシェルジュ（通称ABC）」 と連携した経営支援への取り組み

安城市が運営するビジネス支援施設（通称ABC）へ職員1名をスペシャルアドバイザーとして派遣

当金庫職員による経営相談 上半期実績 対応先数 91先
対応件数 185件



ABCのスタッフ集合写真（中央が当金庫職員）



今後も外部機関との連携を強化し、幅広い経営支援活動を展開

各種経営課題の解決に向けた情報提供

名古屋工業大学（産学官金連携機構）共同企画
「自動車プラスワン」を目指す！
中堅・中小企業応援セミナー

へきしんグローバルセミナー
～米中貿易摩擦の行方とグローバル経済の展望～



（令和元年10月開催）



（令和元年8月開催）

地域経済を取り巻く

社会経済情勢等を踏まえたセミナー等を今後も継続的に開催

個人のお客さまへの提案力強化

「しんきん預かり資産ナビ」コンサルティングツール 活用、資産形成支援への取り組み



店頭窓口、営業担当個々の提案力のさらなる強化を図る

インターネット上の支店

「スマイルネット支店」オープン

令和元年5月、お客さまのスマートフォンなどから、「いつでも」、「どこでも」お取り引きできるスマイルネット支店がオープン

◆お取扱商品◆

- ・ 普通預金
- ・ 定期預金
- ・ 投資信託
- ・ 各種ローン

【今後の取り組み】

ネット支店限定商品の充実

…ローン商品、預金商品、保険商品 等



個人のお客さまとの接点拡大

「地域クーポン」の配信開始

地域の飲食店等で使える約400個のクーポンがへきしんアプリで配信中



(令和元年5月開始)



【アプリトップ画面】

へきしんアプリ
40,000
ダウンロード突破

◆各種手続きも可能◆

- 口座開設
- インターネットバンキング新規申込
- 住所変更
- 名義変更 等

【今後の機能追加予定】

- 各種手続きの受付種類拡大
- デザインリニューアル

サービス連携への取り組み

～キャッシュレス社会の実現へ～

スマートフォン QRコード決済サービス
「Origami Pay」と口座連携開始



(令和元年6月開始)



株式会社SBI証券との
金融商品仲介業務を開始



(令和元年6月開始)

今後もお客さまのニーズ
に合ったサービス提供を展開

課題 2. 人材力の強化 への対応状況

将来の経営を担う人材の育成

若手支店長を対象に、会長、理事長をはじめとした役付理事との宿泊研修を実施



【主な研修目的】

- 経営理念に基づいた業務運営の徹底
- 将来の「へきしん」を共に考える
- 経営側と支店長間の双方向コミュニケーションの活性化

本年中に全支店長に対し実施する予定
今後も、職員との対話を重視した人材育成を行っていきます

専門力を持った人材の育成

職員の自己啓発、能力開発支援を通じた専門力を持った人材育成への取り組み



【主な公的資格等の取得状況】 10月1日現在

資格名	取得者数
中小企業診断士	16
社会保険労務士	7
行政書士	7
宅地建物取引士	121
1級FP技能士	38
2級FP技能士	756
証券アナリスト	4

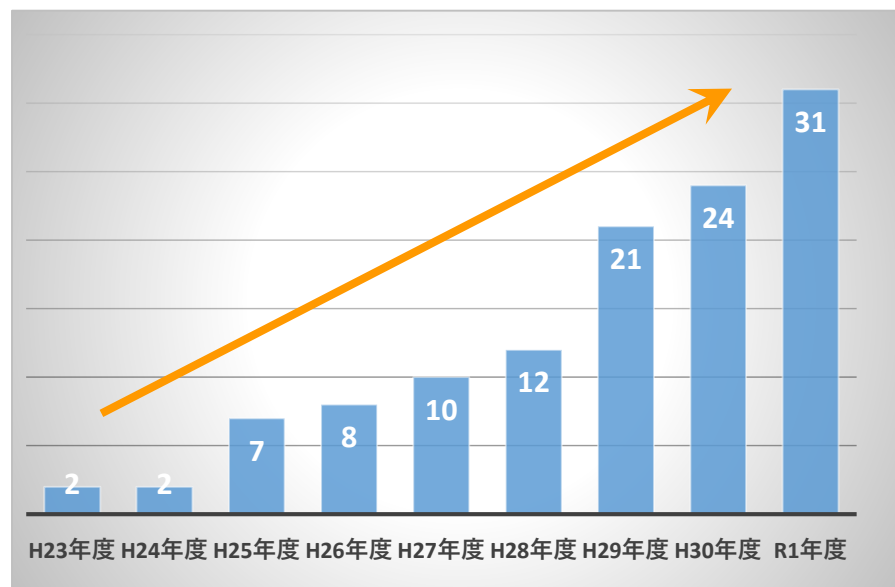
専門分野（資産形成支援、資産承継支援等）のスペシャリスト養成に向け外部機関への職員派遣も行っています

女性の活躍場所の拡大

主に個人のお客様を担当する女性営業担当の増員



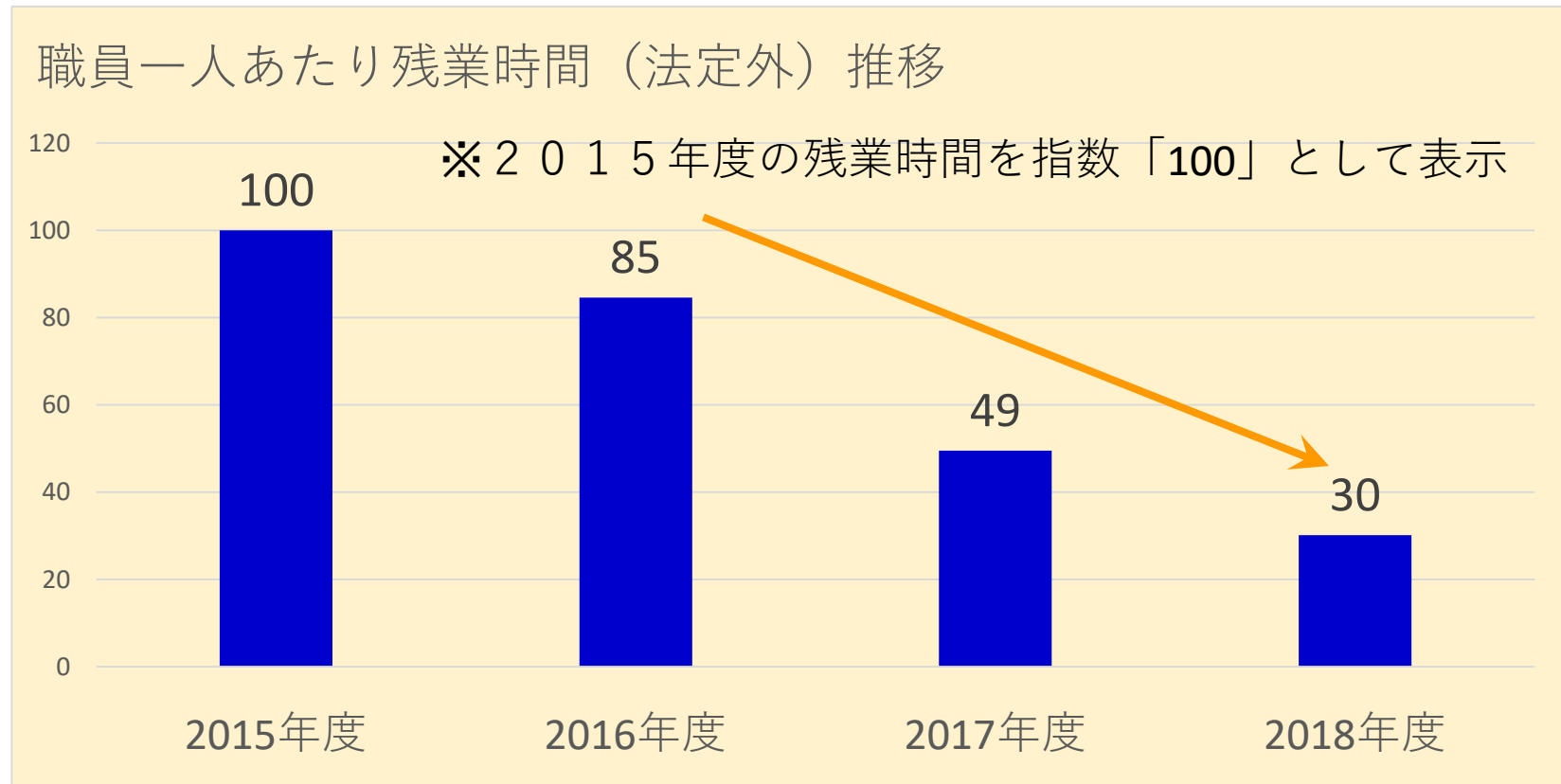
【女性営業担当者数の推移】



女性の感性を十分に生かせる活躍場所を拡大すると共に、仕事と家庭の両立支援、ワーク・ライフ・バランスを進めていきます

働き方改革への取り組み

職員の生産性向上への貢献を還元するため、給与体系の見直しを実施（役付手当、家族手当の増額）



全職員一丸となった働き方改革を推進していきます

課題3. 業務改革、生産性の向上 への対応状況

R P A（Robotic Process Automation）の試行導入

本部業務の省力化等を目的に、対象業務の洗い出しおよび業務自動化の試行を実施

【対象業務の洗い出し結果】

1ヶ月あたり 削減時間（見込）	年間削減時間（見込）
2,093時間	25,124時間



一定の効果が確認できたため、必要な態勢整備を行い、本格導入の準備を進めていきます

最新の事務機器の導入 窓口端末との連携など、さらなる事務の厳正化を実現

新型オープン出納機



新型両替機



今後、営業店融資事務の本部集中化、店頭窓口への新型のタッチ伝票端末の導入など、生産性の向上を進めていきます

組織変更の実施について

令和元年6月、対処すべき課題への対応を強力に推進するため、組織変更を実施

営業戦略部の新設

・・・営業戦略の実行力強化

業務イノベーション室の新設

・・・組織横断的な業務改革の推進

碧海信用金庫創立70周年への取り組み

つなごう未来へ 地域と共に



地域と共に明日を創る

お客さま本位の業務運営

課題 1
支援力、営業力の強化

お客さま満足度向上への態勢整備

課題 2
人材力の強化

課題 3
業務改革、生産性の向上

本日は、経営報告会にご参加いただき、誠にありがとうございました。

本日の説明内容に関するご照会等がございましたら、下記までお願いいたします。

【お問い合わせ先】

碧海信用金庫

総合企画部

企画グループ

TEL 0566-77-8102

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、変動する可能性があることにご留意ください。

また、本資料に掲載されております計数につきましては、会計監査人の監査を受けておりません。